

オウム・インコの今を知ろう！

日時・期間 6月15日(金)・16日(土)・17(日)
各日共に15:00~20分程度
開催場所 管理センター屋上(4階)集合
(※雨天時はウサモルハウス集合)
定員 なし ※事前申込等は不要
参加費 無料 ※入園料が必要

6月15日は、オウム・インコの日

皆さんに、もっとオウムやインコについて知ってもらいたいという思いから「オウム・インコの今を知ろう」を開催します。オウム・インコの多くの種が、野生での絶滅が危ぶまれている希少な種であることを皆さんはご存じでしょうか？

そうしたことや、特徴や違いを、園内のオウム・インコを紹介し、エサをあげたりしながら飼育スタッフが解説していきます。

みなさんの参加をおまちしています！



天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 6月号 2018年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」18年6月1日発行 通巻184号

☆～森のおはなし探検隊～☆

今回のテーマは、「花かるた あそび」です。
園内に咲いている花を題材にしてカードを作りました
そのカードで、花とその種を当てながらカルタ遊びをします。
たくさんのカルタがとれるかな？

みなさんの参加をお待ちしております

- 日 時：6月10日(日) 13時～
- 開催場所：子どもホール 2F
- 参加費：無料・事前予約不要(別途要入園料)

☆市民ボランティア・森の仲間たち☆

平成30年度 新入会説明会開催のお知らせ

- 7月 8日(日) 10時から 【お申込みは6月28日まで】
- 9月 12日(水) 13時から 【お申込みは9月2日まで】
- 11月 17日(土) 13時から 【お申込みは11月7日まで】

申込み及びお問合せは、到津の森公園 (093-651-1895)

お申込みの際に「住所」「氏名」「年齢」「電話番号(日中連絡が取れるもの)」をお知らせください。

六月、ヤマモモの実る頃にモッコクが、梅雨に打たれながらひっそりと花を開きます。

和風の庭の定番としてよく植えられ、幼い頃から神社やお屋敷によく見かけ親しみ深いものでした。親に「これはモッコクという木で庭木の王様なんだよ、植木屋さんは大変気を使って手入れをするんだよ」と教わった思い出は今も頭の隅に残っています。長じて図鑑などを見ると関東以西の海岸線近くの常緑樹林内に野生すると書かれていますが、残念ながら自生した姿を見た事がなく、人から聞いた事ありません。

そういえば花は白花ながらも少しくすんでおり、枝から水平に出た花の柄は、いちいち90度下向きに曲がり、花はうつむいてひっそり咲くのです。園内でもマンドリルのケージ横あたりにたくさんの花を見つけても、翌週には必ずといってよい程足元に落ちてしまっています。径2cm位はある花ですが、これでは人の目を惹きませんね。真面目にしっかり仕事しているのに目立たないという感じでしょうか。幸運にも見つけた人にはセッコクという名のランに似た上品な香りを楽しむ事ができます。

昔から庭造りで重用される魅力は、程よい艶のある葉でしょうね。4~7cmの靴ベラ形、厚く深緑色で、葉柄は赤くきちり端正な雰囲気が漂います。秋に実る果実が熟して裂けると赤い種子が覗くので、アカミノキという別名があったり、一つの花に雄しべ・雌しべが備わっている(両性花)株が多いのですが、雄しべだけの花をつける株があったり、案外面白いところもありますよ。

でも気が付けば最近みかけないなと気づきました。多分革質の葉、きちんと刈り込まれた姿よりは、落葉樹の風にサヤサヤなびく柔らかい葉、同じ白花なら、ヤマボウシやハナミズキの華やかさが好まれるようになったからでしょう。

何十年か後にはまた新しい樹木の流行がみられるのでしょうか。長生きして見てみたいものです。

文：花咲くおばさん

花暦 水無月

森のなかま・カルガモ

10数年ぶりに!?

今までバードケージでは、鳥たちが毎年卵を産んでいましたが、イタチやヘビの侵入などにより、ヒナが孵化することが難しく、卵は孵卵器で孵化させ、飼育員が親代わりに育てる人工育雛をくり返してきました。

しかし、飼育員が長い間かけて施設を改善し、その成果が実ったのか、安心して巣作りできる環境がだんだん整ってきました。

今年の3月の終わりから4月にかけて鳥たちが巣作りをしてたくさん産んだ卵を、10数年ぶりに、バードケージの中で親鳥たちが育てる事が出来るようになりました。

ゴールデンウィークで賑わうさなか1羽の親カルガモがヒナを5羽、無事自然孵化することが出来ました!! 孵化したその日からお母さんの後ろをついて歩いたり、走ったり、泳いだりと元気いっぱい動き回っています。

たくさんのヒナ達がバードケージ内を歩き回る夢のような風景がこれから見られるかもしれません。列を作って動き回るカルガモの親子は見ているだけで癒されますよ!



飼育展示係 深田 直美